

高等学校地理歴史科「日本史 A」学習指導案

日 時：平成 26 年 10 月 30 日（木）2 限目

授業者：教育センター所員 池田 尚史

1 単元名 「なぜ明治政府は中央集権体制を築いたのか？」

2 単元について

本単元は、戊辰戦争以後の明治維新の制度改革や富国強兵・文明開化等の近代化が我が国を欧米諸国と対等の地位に引き上げようとする立場で推進・受容されていったこと、そしてその反動として、対外的には近隣アジア諸国との摩擦を生みだし、国内的には士族の反乱・農民一揆の失敗と自由民権運動による要求実現への転換を取り扱っている。

本単元の学習を通じて、それぞれの歴史的事象を大きな歴史的展開の中で理解させるとともに、1つの歴史事象にも立場(政権にある者、政権に反する者、国民、欧米・東アジアなどの国際環境)によって多様な見解が存在し、その中で歴史が成り立っているということを考察させたい。本単元の歴史事象について、地図・年表等の資料、教師の発問及びマインドマップの作図などの学習活動を設定することを通じて、生徒に多面的・多角的に考察する力を身に付けさせたい。

3 単元の目標

- (1) 明治初期の我が国の動向に対する関心と課題意識を高め、明治維新とその課題について意欲的に追究させる。
- (2) 明治初期の我が国の動向から課題を見いださせ、国内及び東アジアの地理的条件・国際環境を関連付けて近代化政策や欧米文化の導入に対して国民の間に受容と反発があったことを多面的・多角的に考察させる。
- (3) 明治初期の我が国の動向に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりさせる。
- (4) 明治初期の我が国の動向について理解し、その知識を身に付けさせる。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
① 明治初期の我が国の動向に対する関心と課題意識を高めている。 ② 明治維新とその課題について意欲的に追究している。	① 明治初期の我が国の動向から課題を見いだしている。 ② 明治初期の我が国の動向について、国内及び東アジアの地理的条件・国際環境と関連付けて近代化政策や欧米文化の導入に対して国民の間に受容と反発があったことを多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	① 明治初期の我が国の動向に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	① 明治初期の我が国の動向についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。

5 単元の計画（全7時間）

単元の軸になる問い「なぜ明治政府は中央集権体制を築いたのか？」

次 程	主な学習内容・活動	活用する資料等について	評価の観点				評価規準
			関	思	技	知	
第1次 2時間	<p>【なぜ五箇条の誓文は江戸城無血開城と同時に出了されたのか？】</p> <p>戊辰戦争の展開と関連する地図・年表の読み取り(主に江戸城無血開城と五箇条の誓文)を通じて、明治新政府が国内外に対して新たな政権としての立場を確立していったこと、及び明治政府が当初抱えていた課題について考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戊辰戦争に関連する地図 ・ 戊辰戦争の経緯と五箇条の誓文等が併記された年表 	●				<p>① 明治政府の課題について列挙できる。(ワークシート)</p> <p>① 戊辰戦争の展開と明治政府の確立についての国内の動向と国際環境を関連付けて考察することを通じて、明治新政府が抱える諸課題を見いだしている。(ワークシート)</p>
第2次 3・5時間	<p>【なぜ日本の近代化には「四民平等」が必要だったか？】</p> <p>明治政府の初期の政治的な諸課題を資料から読み取る。また、江戸時代の身分の在り方との比較を通じて、明治維新の諸改革について「四民平等」との関わりから考察し、身分制度の廃止が近代国家の確立に不可欠だったこと、さらに一連の改革には廃藩置県が前提だったこと考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明治政府の財政状況を示すグラフ ・ 華族、士族、平民の人口比のグラフ ・ 江戸時代の幕領と藩領に関する地図 				●	<p>① 中央集権体制の構築をはじめとする明治政府の諸改革に関するマインドマップを作成する。それぞれの歴史的な事象の関係を国際環境と関連付けて作成している。(学習用 PC 上の OneNote の記述)</p>
	<p>【国民生活は本当に「文明開化」したか？】</p> <p>文明開化の諸事象が当時の社会各層の人々に与えた影響を学制等の事例を元に、急速な近代化に対する受容と反発について考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開智学校の図版 ・ 寺子屋の様子と小学校の授業風景 					

	<p>【なぜ初期外交は清・朝鮮との摩擦を起こしたか？】</p> <p>明治初期の対外政策について、東アジア外交について欧米との外交の違いを比較し、清・朝鮮との摩擦を起こしたことを考察する。</p> <p>近代国家としての領土・国境の画定の経緯についても確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本を中心とする地図に外交の様子を作図しながら、初期外交についてまとめる。 			●	<p>① 初期外交における対外関係の変化について、国内の事象と関連付けて地図上にまとめている。 (ワークシート)</p>	
第3次 1.5時間	<p>【なぜ西日本の士族が反乱を起こしたのか？】(本時)</p> <p>士族の反乱について、発生地・首謀者や反乱の経緯について確認する。</p> <p>士族の反乱に関する地図から「なぜ西日本の士族が反乱を起こしたのか」という疑問を持ち、その課題に新政府と士族という複数の立場から考察する学習活動を通じて、単元の学習内容を振り返る。</p> <p>また、次の単元である「自由民権運動の展開」について展望する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関連する年表及び士族の反乱の地図 ・不平士族のプロフィール ・牧野伸顕『回顧録』の不平士族の記述 ・戊辰戦争の地図 (学習活動の状況によっては、比較させるために提示する) 	●		●	<p>② 単元当初に挙げた明治政府の課題を含めて追究している。 (ワークシート)</p> <p>② 戊辰戦争から明治維新の動向について、地理的条件を踏まえながら為政者と一般士族という立場による違いを比較して、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 (ワークシート)</p>	
	ペーパーテスト			○	○	○	

6 本時について

○ 授業名

「なぜ西日本の士族が反乱を起こしたのか？」

○ 本時の目標 (7/7)

- ・単元冒頭での課題意識を生かしながら、明治新政府が目指した国家とその課題について意欲的に追究させる。
- ・戊辰戦争から明治維新の動向について、地理的条件を踏まえながら為政者と一般士族という立場による違いを比較することで多面的・多角的に考察させ、適切に表現させる。
- ・次の単元「自由民権運動の展開」について展望させる。

○ 指導の視点

単元のまとめにおいて、単元の学習内容を振り返るに当たり、教科書・資料集など日常使用している資料について教師の発問と言語活動等の学習活動を工夫することで生徒の考察を促す活動を設定する。なお、言語活動の充実に当たっては学習用PCの OneNote を活用し、他者の考えに触れながら自分の考えを見つめ直させる。

○ 本時の展開

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価及び支援の手立て
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今日の学習テーマを確認する。 ・ 反政府運動の中心地が西日本を中心とした地域だったことを地図資料から読み取り、「なぜ西日本の士族が反乱を起こしたのか」という疑問をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書の西日本のみの士族の反乱の地図、及び電子黒板の本州以南の士族の反乱の地図を比較することで、西日本に着目させる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ※評価について A「十分満足できる」 B「おおむね満足できる」 C「努力を要する」 </div>
展開① (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 明治初期の動向について、一般の薩摩士族と大久保利通の考えを想像しながら比較する。4人1グループによる学習用PCの OneNote を活用した学習を通じて、共通点・相違点を考察する。 <p><活動の手順></p> <p>※大久保の立場について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年表中の出来事、特に明治新政府(大久保利通)の視点から、改革のねらいについてメモする。 ・ 教師の発問に答えながら、明治政府が目指した国家について考察し、ワークシートに記述する。 <p>※薩摩士族の立場について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明治政府の諸改革に対する一般の薩摩士族の考えをメモする。 ・ それぞれのメモを比較し、どの出来事が互いの考えが異なり始めるきっかけなのかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ プロフィールなどを用い人物像をイメージさせた上で学習活動に取り組みさせる。 また、適宜インターネット等も活用させ、参考になる資料があれば OneNote に貼り付けさせる。 ○ 生徒のさまざまな回答を活用して、明治維新の推進についてまとめる。 ○ 一般の薩摩士族と大久保利通の考え方のかい離が分かりやすい出来事(廃藩置県・徴兵令など)に特に注目するように指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目指した国家について A：新たな課題を含めて記述している。 B：「本時の目標」に示す通り Cの場合：単元冒頭の課題を確認させる。(ワークシート) <p>【関心・意欲・態度】</p>

まとめ (15分)	<p>○ 導入で確認した問い「なぜ西日本の士族が反乱を起こしたのか？」について考察し、ワークシートに記述し、発表する。</p>	<p>○ 生徒の考察を生かしながら、明治維新に対する反発についてまとめる。</p> <p>○ 生徒の活動後に牧野伸顕(大久保の次男)の不平等士族についての記述を紹介する。</p>	<p>○ 士族の反乱が起きた理由について</p> <p>A：中央集権体制形成の課題として理由を述べている。</p> <p>B：「本時の目標」に示す通り</p> <p>Cの場合：牧野伸顕『回顧録』を参考に下野した参議や一般士族の立場に立って考えさせたり、戊辰戦争の地図を提示し、東日本と比較させたりする。 (ワークシート)</p> <p>【思考・判断・表現】</p>
	<p>○ 次の単元「自由民権運動の展開」を展望する。</p>	<p>○ 発問を通じて「武力から言論による政府批判」という展開を意識させる。</p>	

《使用教科書》

- ・『高等学校 日本史 A 人・くらし・未来』 第一学習社

《引用文献》

- ・牧野伸顕『回顧録』 昭和 52 年 中公文庫

《参考文献》

- ・文部科学省 『高等学校学習指導要領解説 地理歴史編』 平成 21 年 12 月
- ・文部科学省 『言語活動充実に関する指導事例集【高等学校版】』 平成 24 年 6 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター 『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 地理歴史）』平成 24 年 3 月
- ・松尾正人編『日本の時代史 明治維新と文明開化』 平成 16 年 吉川弘文館
- ・野口武彦『幕末明治 不平等士族ものがたり』 平成 25 年 草思社
- ・野口武彦『明治めっちゃくちゃ物語 維新の後始末』平成 25 年 新潮新書